

【分配金のお知らせ】

2016年5月17日

野村アセットマネジメント株式会社

「ハイブリッド・インカムオープン」 2016年5月16日決算の分配金および投資環境について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「ハイブリッド・インカムオープン」(以下、ファンド)の2016年5月16日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算において、市場動向ならびに基準価額水準を勘案し、分配金を引き下げることいたしました。

1 万口当たり 50 円(課税前)(前回は 70 円)

【分配の方針】

原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

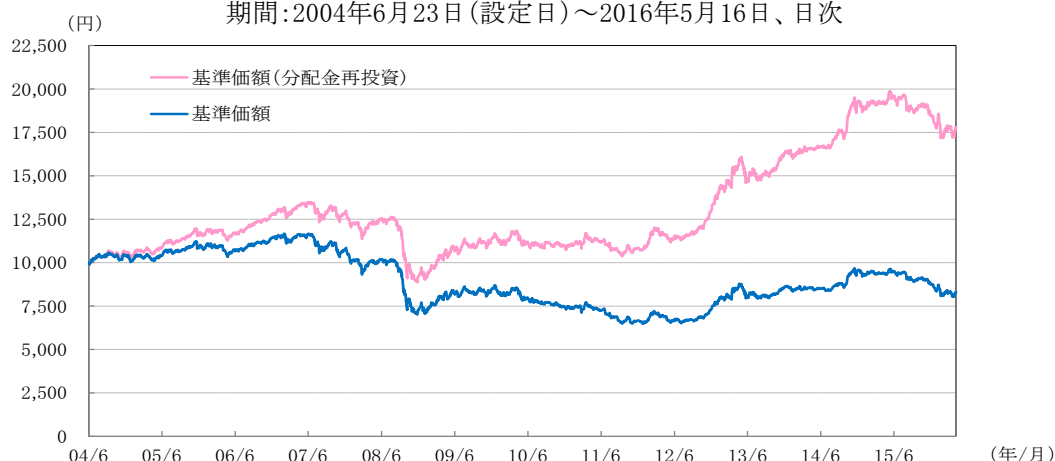
【分配金引下げの背景】

今回の決算におきましては、分配金の継続や運用資産の健全性維持、債券ならびに為替市場の動向、現状においては基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることなどを総合的に勘案した結果、分配金を前回決算時の70円から50円に引き下げました。なお、ファンドの最終利回り※は2016年4月末現在 3.7%でした。

※ファンドの最終利回りは、ファンドの組入債券等(現金を含む)の最終利回りを、その組入比率で加重平均したもの(現地通貨建)。

《ファンド設定来の基準価額の推移》

期間:2004年6月23日(設定日)～2016年5月16日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

—— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ——

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【足元の投資環境について】

過去半年間のファンドの基準価額の変動を見ると、高格付債やハイ・イールド債券の価格が上昇したことから、債券要因はプラスとなりました。一方、米ドルやユーロが円に対して下落したことから、為替要因が大きくマイナスとなりました。その結果、2015年11月末から2016年4月末までの基準価額(分配金合計140円含む)は、805円の下落となりました。

各市場における投資環境は以下のとおりです。

高格付債券市場

米国では、雇用市場の改善などから2015年12月にFRB(米連邦準備制度理事会)が利上げを実施しました。しかし、投資家のリスク回避姿勢の強まりを背景にFRBが今後の利上げに対する姿勢を軟化させたことなどから、債券の価格は上昇(利回りは低下)しました。

欧州では、3月のECB(欧州中央銀行)理事会において、資産買い入れ規模の拡大や利下げ、資産購入の対象に銀行以外の投資適格級の社債を加えることなどが盛り込まれた大規模な追加緩和策が決定されたことなどから、債券価格は上昇(利回りは低下)しました。

米国ハイ・イールド債券市場

米国ハイ・イールド債券市場は、FRBが利上げを決定したことや、2016年初にかけて原油価格が大幅に下落したことなどから、債券価格は下落基調となりました。しかしその後、株式市場や原油価格が反発し、FOMC(米連邦公開市場委員会)において2016年内の政策金利の見通しが下方修正されたことなどから値上がりしました。結果、米国ハイ・イールド債券市場は、対象期間において上昇しました。

為替市場

世界的な株安とともにリスク回避的な動きが強まったことやFRBの利上げに対する姿勢が軟化したことなどから、米ドル・ユーロに対して円高となりました。

【今後の市場見通しと運用方針について】

高格付債券市場

米国では、個人消費などの内需を中心に景気回復が継続しており、FRBによる金融引き締めを見込んでいることから、債券利回りは上昇圧力がかかりやすいと予想しています。欧州ではECBによる金融緩和姿勢が継続すると想定しており、債券利回りは横ばいまたは低下方向で推移すると予想します。

今後の方針としては、投資環境の変化に柔軟に対応するため、残存期間(償還までの期間)の短い債券の比率を増やすことなどによって、価格下落リスクの軽減を目指します。為替は金融引き締め予想から米ドルをオーバーウェイト(ベンチマーク*に比べ高めの投資比率)とし、欧州通貨は金融緩和姿勢の継続からアンダーウェイト(ベンチマーク*に比べ低めの投資比率)とします。

米国ハイ・イールド債券市場

米国ハイ・イールド債券市場については、米国経済の拡大、企業利益の増加を背景に当面は堅調に推移すると考えられます。米国企業のEPS(1株当たり利益)予想は、2018年には140ドルを超えると予想されています【図1】。また米国ハイ・イールド債(BB～B格)の発行企業の約7割が内需企業であり、原油安による内需拡大や米景気回復の恩恵が期待出来る投資対象であると考えられます【図2】。なお、エネルギーセクターにおいては、財務状況や投資計画が健全な企業に投資機会があると判断していますが、原油市場は不透明な市場環境が続いており、慎重に銘柄を選定していく方針です。一方、デフォルト率は、エネルギーセクターを除き、今後も低水準で推移すると考えられます。このような市場環境のもと、米国の利上げペースは緩やかになると予想されることもあり、金利の急上昇に伴う米国ハイ・イールド債券の価格下落が起こる可能性は低いと考えています。

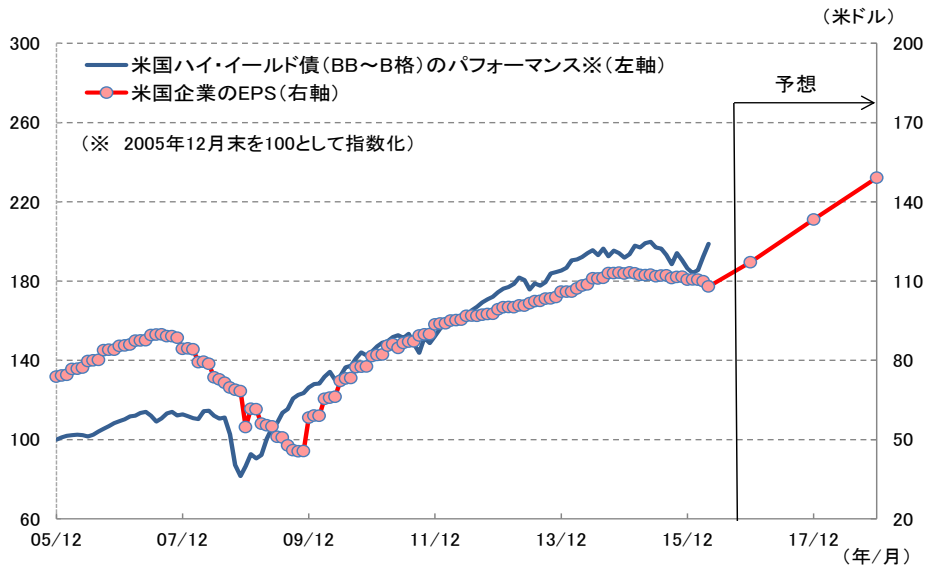
*高格付債のベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本)を野村アセットマネジメントが独自に円換算した指数です。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

【図1】《米国企業の利益と米国ハイ・イールド債(BB～B格)のパフォーマンス》

【米国企業のEPS(1株当たり利益)】期間:2005年12月～2016年4月(月末時点、実績)、2016年～2018年(年末時点、予想)

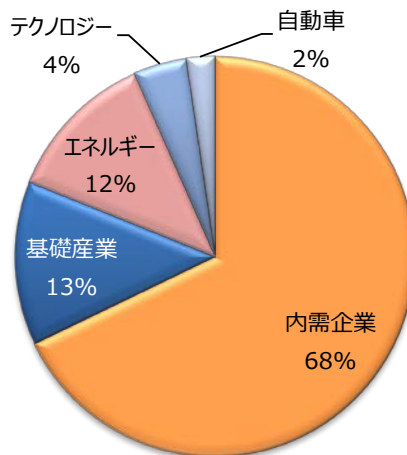
【米国ハイ・イールド債(BB～B格)のパフォーマンス】期間:2005年12月末～2016年4月末(月次)



米国企業のEPSは、S&P500株価指数の採用銘柄が対象。各時点のEPSは直近12か月の利益を基に算出されています。2016年～2018年(年末時点)は、2016年5月2日時点のブルームバーグの予想値です。

米国ハイ・イールド債(BB～B格):BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

【図2】《米国ハイ・イールド債(BB～B格)における内需企業の構成比(時価総額ベース)》 (2016年3月末現在)



米国ハイ・イールド債(BB～B格):BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス

バンクオブアメリカ・メルリンチのセクター区分に基づき、ノムラ・アセット・マネジメント USAインクが分類。上記の内需企業には、通信、ヘルスケア、小売り、金融サービス、不動産、レジャー等の内需に関連する14業種が含まれます。四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

(出所)バンクオブアメリカ・メルリンチのデータに基づきノムラ・アセット・マネジメント USAインク作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドにおける高格付債とハイ・イールド・ボンドへの投資配分は、効率的な資産配分を考慮し、引き続き50%:50%を目標とする方針です。

ポートフォリオの約半分を高格付債に投資することで信用リスクを抑えつつ、堅調な米国の企業業績に伴い良好なパフォーマンスが期待されるハイ・イールド・ボンドに投資をすることにより、高水準の利息収入および売買益の獲得を目指します。

今後とも「ハイブリッド・インカムオープン」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

《当資料で使用了市場指数について》

- BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテッド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index)に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。
- 日本を除く世界の格付けの債券(格付け債)および米国の高利回りの事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象※とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「海外アクティブ債券マザーファンド」、「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 格付け債とハイ・イールド・ボンドへの資産配分は50%:50%程度を基本とし、分散投資効果により信用リスクを抑えつつ、高水準の利息収入および売買益の獲得を目指します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- シティ世界国債インデックス(除く日本)およびBofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテッド・コンストレインド・インデックスを野村アセットマネジメントが独自に円換算し、各々を50:50の割合で合成した指数(円ベース)をベンチマークとします。
- 格付け債への投資にあたっては、ソブリン債(日本を除く世界先進主要国※が発行する国債・政府保証債)を中心とした債券に投資をするを基本とします。
※シティ世界国債インデックス(除く日本)の採用国とします。
- ハイ・イールド・ボンドへの投資にあたっては、業種分類を考慮した分散投資と企業調査を重視した銘柄選定を基本とします。
- ファンドは「海外アクティブ債券マザーファンド」、「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「海外アクティブ債券マザーファンド」の運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」の運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク(NGRAM社)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成16年6月23日設定)
- 決算日および収益分配 年6回の決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動引けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年5月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.35%(税抜年1.25%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先: 野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ハイブリッド・インカムオープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。